

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 13-006

PDCA	事務事業名	地球温暖化対策事業	部課等名	環境課	担当	鳥居
					内線等	331
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち				
		節： 第2節 環境との共生				
		基本施策： 1. 地球・地域環境の保全				
		単位施策： (1) 地球環境保全				
	根拠法令等	地球温暖化対策推進法、半田市環境保全条例、半田市環境基本計画等				
	対象・目的	全市の地球温暖化対策を推進するため、市の事務事業での環境配慮を率先して実施する。また、「エコファミリー登録制度」「エコ事業所登録制度」を継続して実施し、地球温暖化防止意識の向上を図る。				
	目的を達成するための手段・活動内容	市の率先行動としては、「はんだエコアクション2019」に基づき、エネルギー使用量の削減に取り組む。 エコファミリーやエコ事業所には、情報発信をし、家庭や事業所でのエネルギー使用量の削減を図る。				
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位
		緑のカーテン育て方講座受講世帯数	20	15	0	世帯
		事業費	72	323	6	千円
		人件費	3,435	2,484	4,320	千円
		総事業費	3,507	2,807	4,326	千円
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位
	市民1人あたりに係る地球温暖化対策コスト	30	24	36	円	
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位
		半田市役所の電力使用削減量 (前年度比)	実績値 ▲6	1	—	%
			目標値 1	1	—	
温室効果ガス排出量(CO2換算) (半田病院・ごみ処理施設除く)		実績値 —	—	8,180	t-CO2	
		目標値 —	—	8,864		
「緑のカーテン育て方講座」受講者の 「緑のカーテン」設置数		実績値 —	—	0	世帯	
	目標値 —	—	135			
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ 低い	⑤成果向上の余地 ある			
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ある	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	C				
		「はんだエコアクション2019」に代わる長期計画「半田市公共施設CO2排出削減対策実行計画」を策定した。 手軽に家庭で取り組みやすい地球温暖化対策としての「緑のカーテン」については、半田農業高校の協力での「緑のカーテン育て方講座」及び地域に出向いての講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 市役所の温室効果ガス排出量は、目標を達成することができた。				
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	拡充推進			
		温室効果ガスの排出量削減に向けて、家庭や事業者向けの補助金制度の創設を検討していく。また、「はんだエコアクション2019」の後続計画としての「半田市公共施設CO2排出削減対策実行計画」の推進を図り、市が一事業者としての率先した行動により、地球温暖化防止に向けて取り組みを行う。				
令和3年度の目標		成果指標	目標値		単位	
		温室効果ガス排出量(CO2換算)(半田病院・ごみ処理施設除く)	7362		t-CO2	
		「緑のカーテン育て方講座」受講者の「緑のカーテン」設置数	135		世帯	